

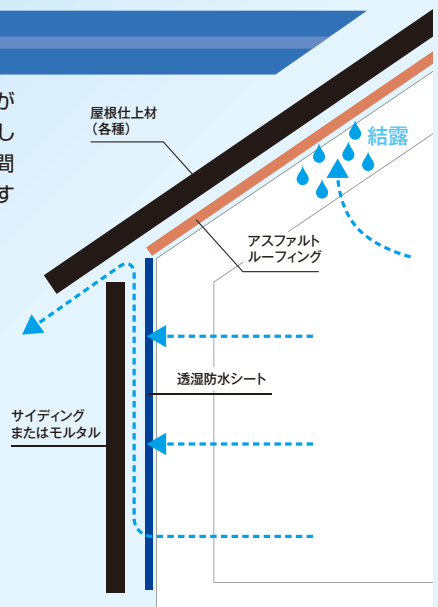
屋根用遮熱・透湿防水シート（透湿ルーフィング）
遮熱ルーフェアテックス®

現状

壁には「透湿防水シート」が採用され、室内の湿気が屋外に排出される仕組みが成り立っていますが、屋根の湿気は上部に向かい、ルーフィングが湿気を透過しないため、このルーフィングの裏面で結露水が溜まる可能性があります。長期間このような状態にさらされると、ルーフィングの下地となる木材や合板が腐朽することがありますが、屋根内部の実態把握はなかなか難しいのが現状です。



腐朽した木材や合板



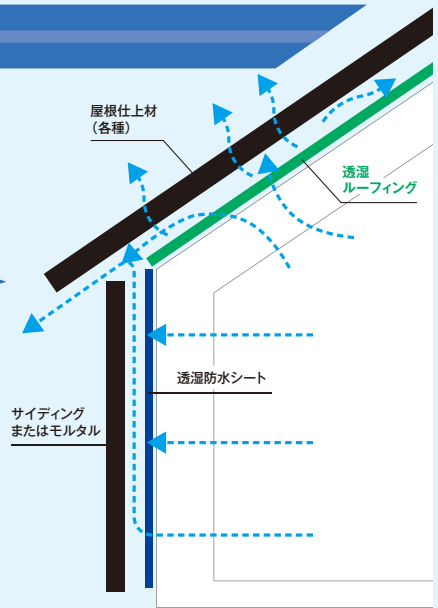
透湿ルーフィングを使用すると…

透湿の機能が備わっている透湿ルーフィングを使用することで、屋根の湿気を排出することができ、木材の腐朽を防いで快適な状態に保ち、屋根を長寿命化させます。



透湿ルーフィング「遮熱ルーフェアテックス」

雨水を通さず
湿気を逃がす!



商品詳細

遮熱ルーフェアテックス 規格

呼称	規格(巾×長さ×厚み)	コード	単品価格(巻)	梱包価格	梱包内容
遮熱ルーフェアテックス	1,000mm×40m×0.9mm	SHATXY	¥28,900	¥28,900	1巻入

遮熱ルーフェアテックス 物性規格表 (下記データは測定値であり、保証値ではありません。)

性能項目	評価項目	単位	JIS A 6111:2016 屋根用透湿防水シート	遮熱ルーフェアテックス
透湿性(透湿抵抗)		m ² ·s·Pa/μg	0.65以下	0.65以下
強度	引張強さ	N	縦、横とも100以上	100以上
	つづり針保持強さ	N	縦、横とも50以上	50以上
発火性		—	発火しない。	発火しない。
防水性	水圧	kPa	10以上	10以上
	水圧	kPa	8以上	8以上 ^{※2}
耐久性 ^{※1}	引張強度残存率	%	縦、横とも初期値の残存率50以上	50以上 ^{※2}
	収縮率	%	1.0以下	1.0以下
くぎ(釘)穴止水性	水位低下	—	10個の平均値が5mm以下かつ水の全流出が1個もない。	平均値5mm以下水の全流出なし

※1 耐久性試験の加熱処理条件には、右表の6種類があります。※2 加熱処理条件「Ⅲ-1」での測定値です。

加熱処理条件

記号	加熱処理条件		備考
	試験温度	試験期間	
Ⅰ-1	90±2℃	7週間	10年相当
		17週間	30年相当
Ⅱ-1	80±2℃	26週間	50年相当
		14週間	10年相当
Ⅲ-1	80±2℃	34週間	30年相当
		52週間	50年相当

注意 使用時のご注意

- 陸屋根には使用しないでください。
- 屋根勾配は1寸以上とってください。ただし屋根材(瓦・化粧スレート・金属系など)に、1寸より大きい勾配指定がある場合は、その指定に従ってください。
- 屋根材と本製品の間の空間は湿気排出が可能な納まりとしてください。特に化粧スレート屋根や金属屋根の場合は、垂木を2重にするなど、通気下地屋根構造で施工してください。
- 野地板は隙間をあけ段差なく施工してください。
- タッカー釘は、本製品重ね合わせ部分に、約200mm間隔で留めてください。
- 壁面との取り合い部は壁の下地に沿って250mm以上立ち上げてください。
- 施工中、タッカー釘や釘の打ち損じにより、本製品を損傷(破れ・穴あきなど)した場合は、タッカー釘が野地板の隙間に打ち込まれた場合などは、漏水のおそれがありますので、防水テープで補修してください。
- 本製品表面に防水テープ一旦貼ったと剥がさないでください。
- 本製品には、継ぎ目がある場合がありますが、機能上、問題ありません。
- 本製品施工完了後は、2週間以内に屋根材を施工してください。
- 防腐・防蟻加工された桧木等は薬剤が十分に乾燥していることを確認してください。
- 本製品単体で防水を保障するものではありません。施工後に降雨が予想される場合は濡れないよう養生をお願いします。
- 本製品施工後かなりの降雨が予測される場合は、タッカー釘打ち部や釘打ち部の防水の観点から、保護シートで覆うなどの処置をお願いします。